

唐詩選畫本

七言絕句

五



胡
茄

本草綱目卷之八

胡茄

酒泉太守席上醉後作

岑参

酒泉太守能舞高堂置酒夜擊鼓

胡笳一曲断人腸客相看淚如雨

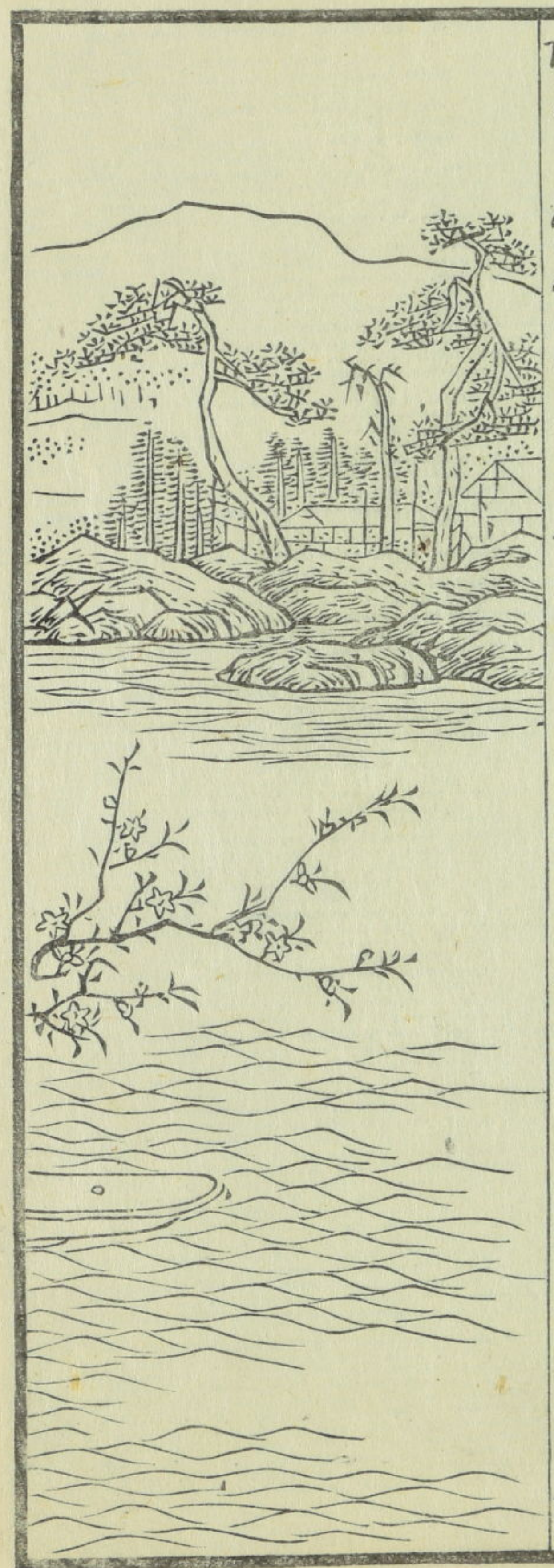
久ちちのさきよりむたたまぬるてはまをぬとてつるさのすいれいとすま。まのさんとりだしてする
也よんといふおちどどどにのぢりよあけす。さうもつとてうごころはまはちんこちちち
たのちるぢやこれすん。まううでありがまのそをときけ。胡笳のそりする。これをときけ、愁と
いさちち。せ中かたかたをさあをて。まののふとちいあて。なをこをさるりとちちて



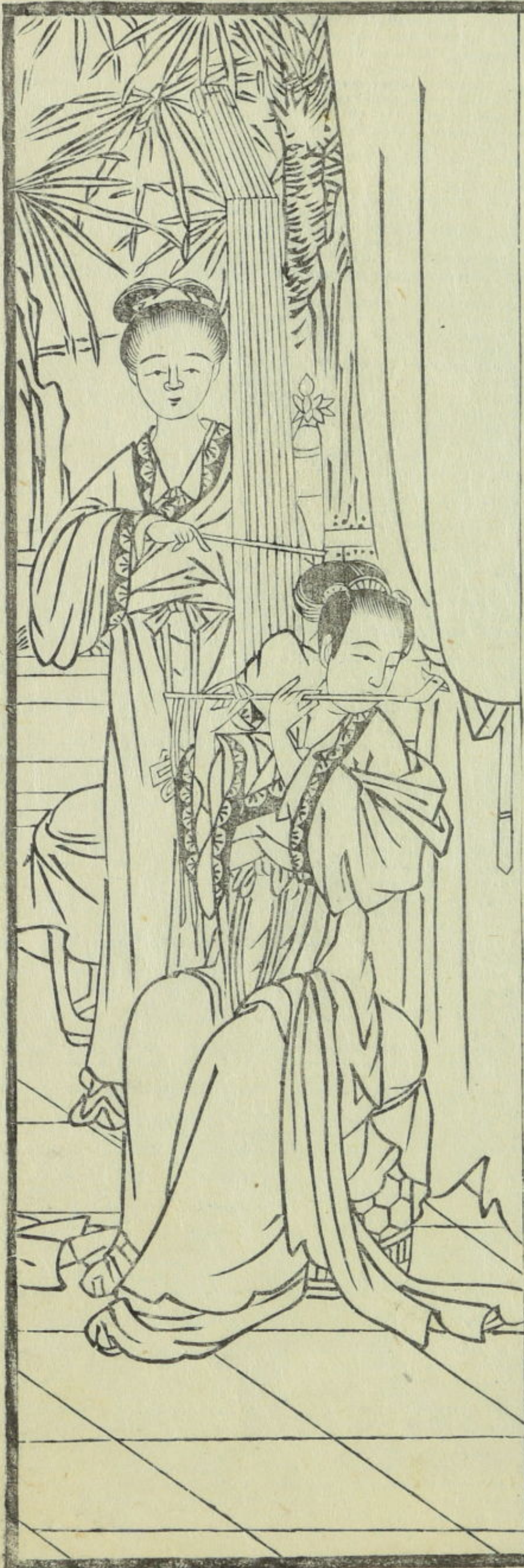
寄孫山人

新林二月孤舟還
水滿清江花滿山
借問故園隱君子
時來往任人間

まへまへ地各あり。なるけしきありちかうおとありひこまゝのまゝのふふ二月おあふふはふふ
さしとゆつてあれハ春あもせいのたててあふもあもまの仲てゆにふふにまてあふまてあふ
さふんもこれとていつるがあふふあふふあふふあふひたつたれがあふひのふふとこらけつてはれぬ
隠居あなれハ人君にま引るをわもあふふのやが人君にもはれあふていつるあふのあふぬるをこれ



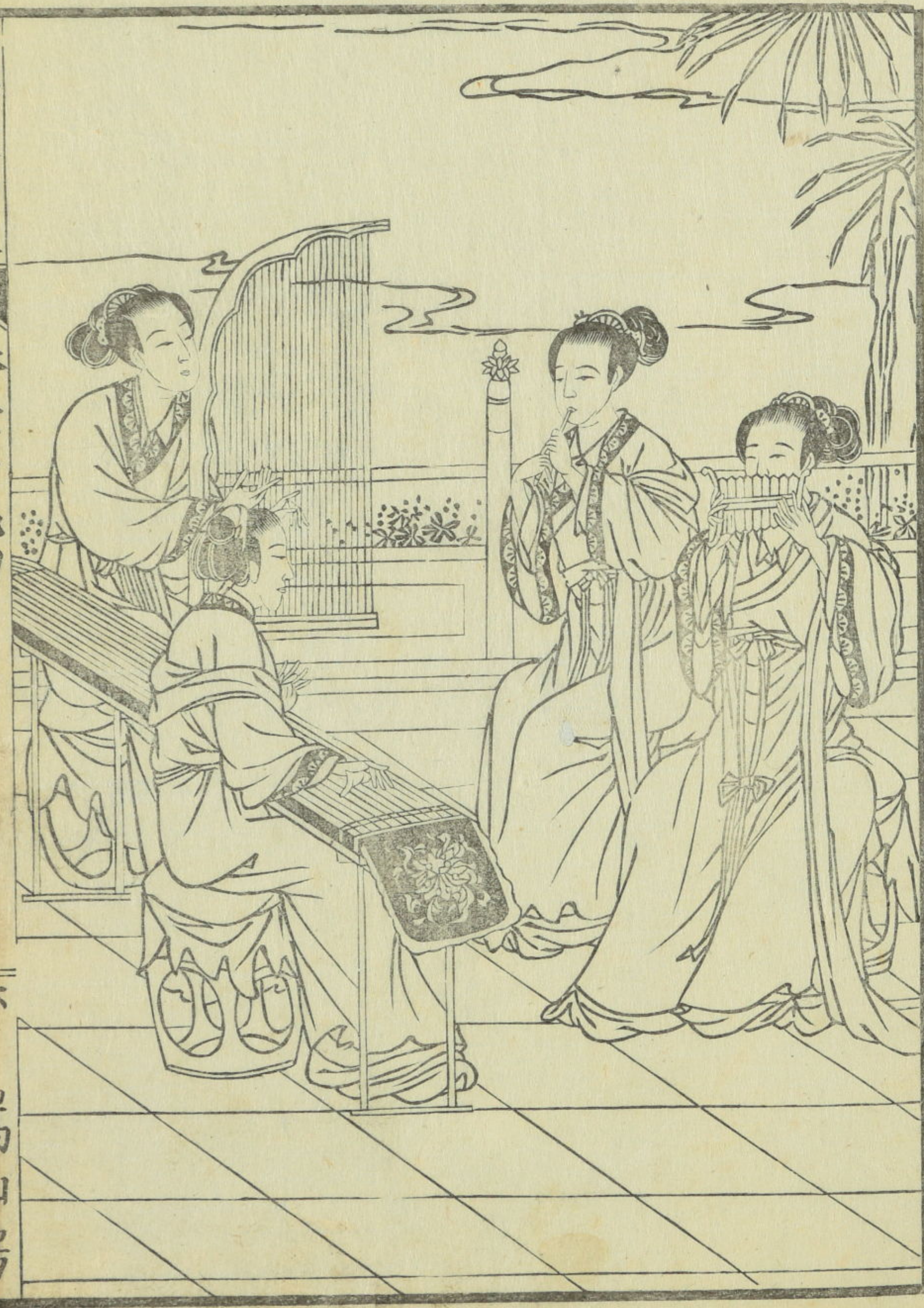
唐詩選 卷五十五 詩餘



錦城絲管日紛々半入江風半入雲
 此曲祇應天上有人間能得幾回聞

贈花卿
 杜甫

此曲のまよひてこのころれまらんかきを江風なとふまふいなるをハ入て天はひきまらるこの
 きつらふハふて民間でまきてハたぬこのやうなる音の奴ちらきうくハま宗正まの天子れ
 ちきつらふハふて民間でまきてハたぬこのやうなる音の奴ちらきうくハま宗正まの天子れ
 花けいふかのたれもあれもむすのむにんてよハ眞高時むすのむにんてよハ眞高時むすのむにんてよハ眞高時



重贈鄭鍊

杜甫

鄭子將行

無一物

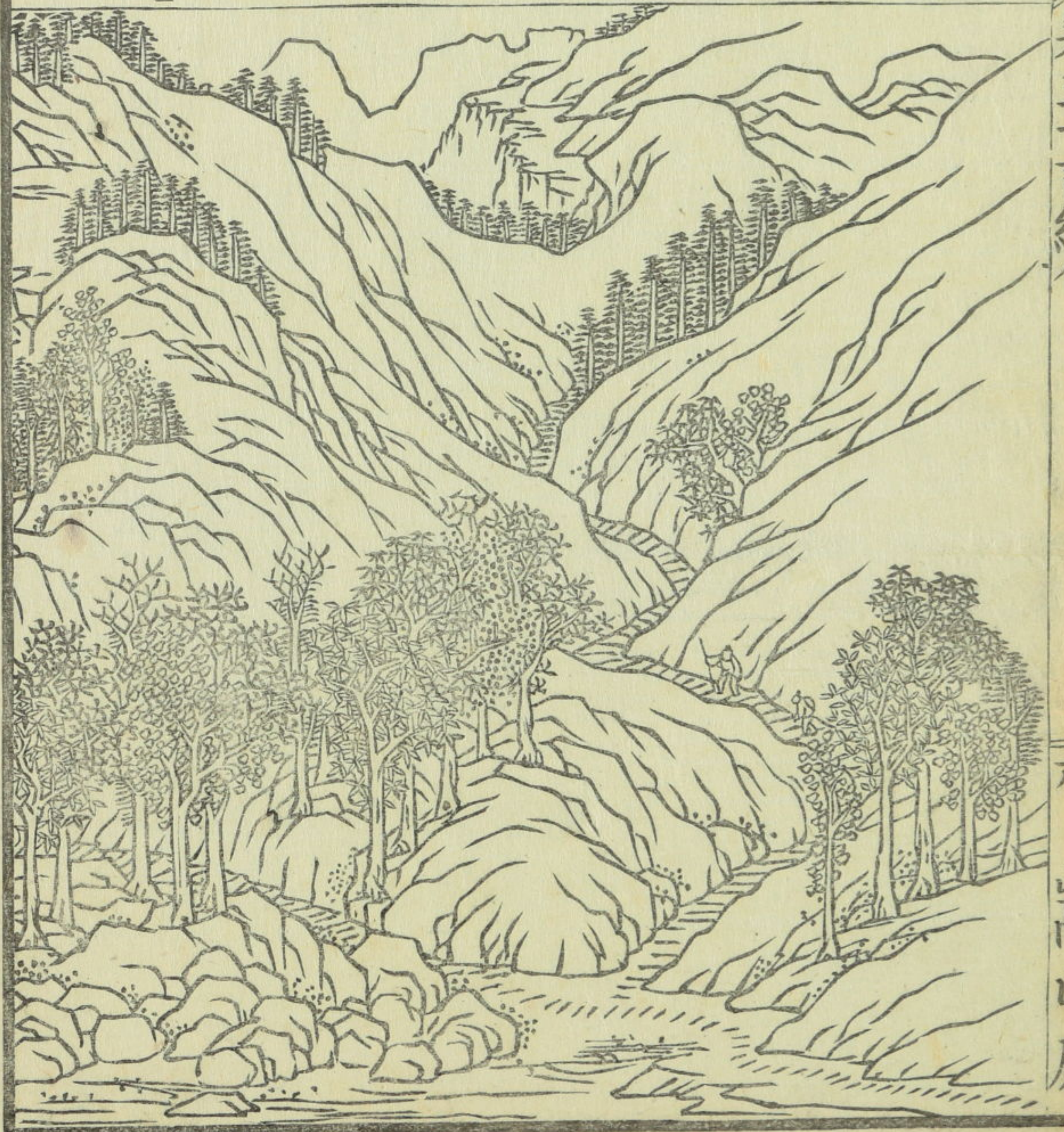
獻尊親

江山路遠

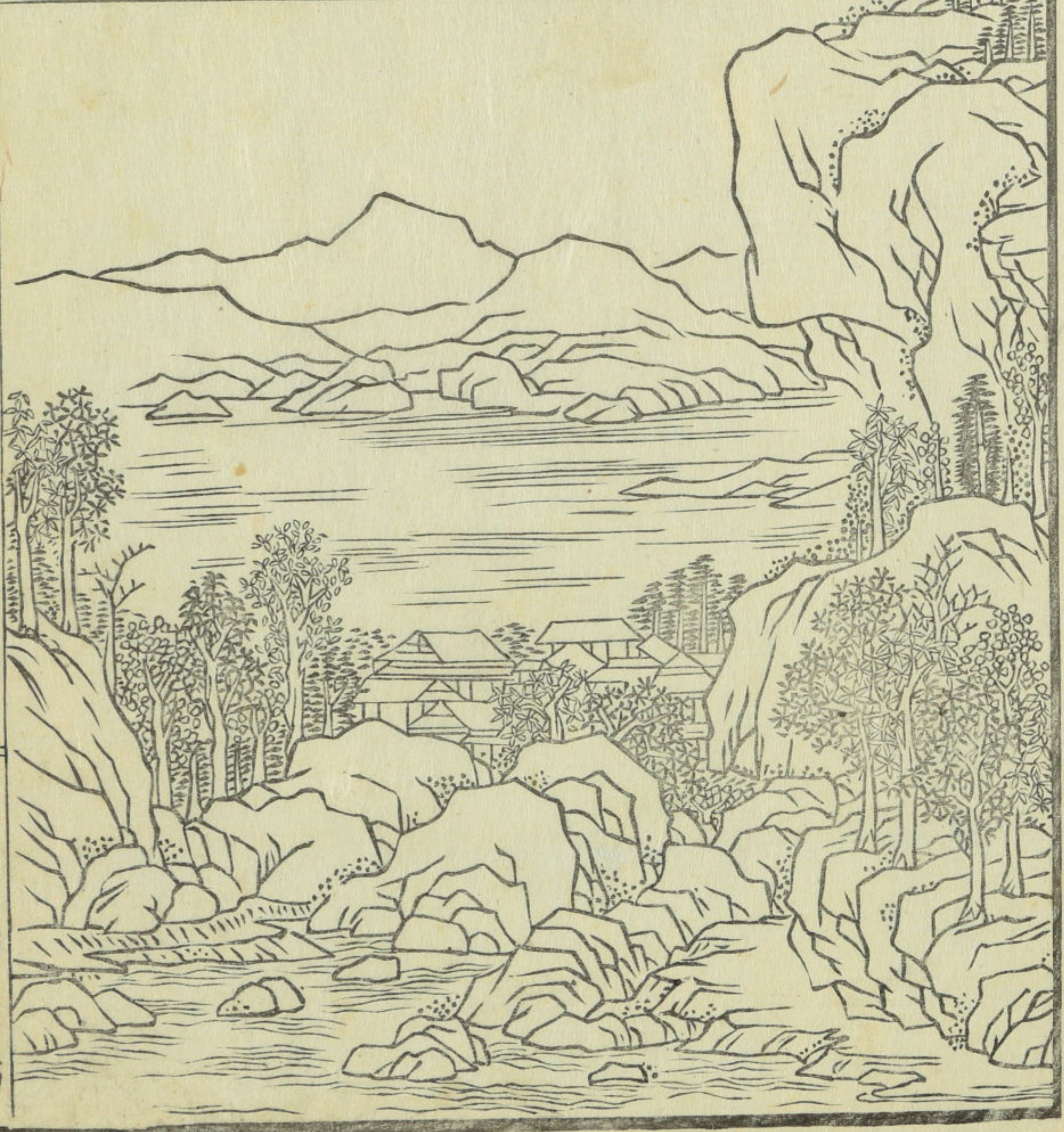
羈離日

裘馬誰為

感激人



このひとハこまやしくあ
とてをんをやめてあり
あへりたみとむさ不
らむ一せんのだくま
なくこまやうのおやた
ちくみやけもたひこれ
くこまやうかろみち
もととくこまさんと
てあつるやまき
いあまきのひとこまや二
いあまきたるひもた
いぶんあるこまのいと
ひんきまをけつそく
たるとあんげき一あ
まゆんでやるもの
たひハあひもたひと
るうね
きりハたびあひあ
みらすがのるまをり
るうハ
るう清秋あり





奉^{たてまつる}和^わ嚴^{げん}武^ぶ軍^{ぐん}城^{じやう}早^{のち}秋^{あき}
 秋^{あき}風^{かぜ}颯^{さつ}動^{くわ}高^{かう}旗^{せい}玉^{ぎよく}帳^{ちやう}弓^{きう}射^や虞^よ營^{えい}
 已^{まて}奴^{ちさり}滴^{てき}博^{はく}雲^{うん}間^{かん}成^{せい}欲^{よく}奪^{だつ}蓬^{ほう}婆^は雪^{せつ}外^{がい}城^{じやう}
 あきのとたなれはらせがさうとふきちんやにたたくたてあつたをたひもせいだんのあふちおのて
 に大せいでしに子とマウらでマけとて胡のぢんへ矢とかけたるまのれりつけるやたうひる
 てまてのちとげんむがておあめればどのちのれんぬのたつき西へ成るをたてをんての
 まのとあくそのかちせりてあつたをたひもせいだんのあふちおのてとせうら



解悶

杜甫

一辭故國十

徑秋

每見秋瓜憶

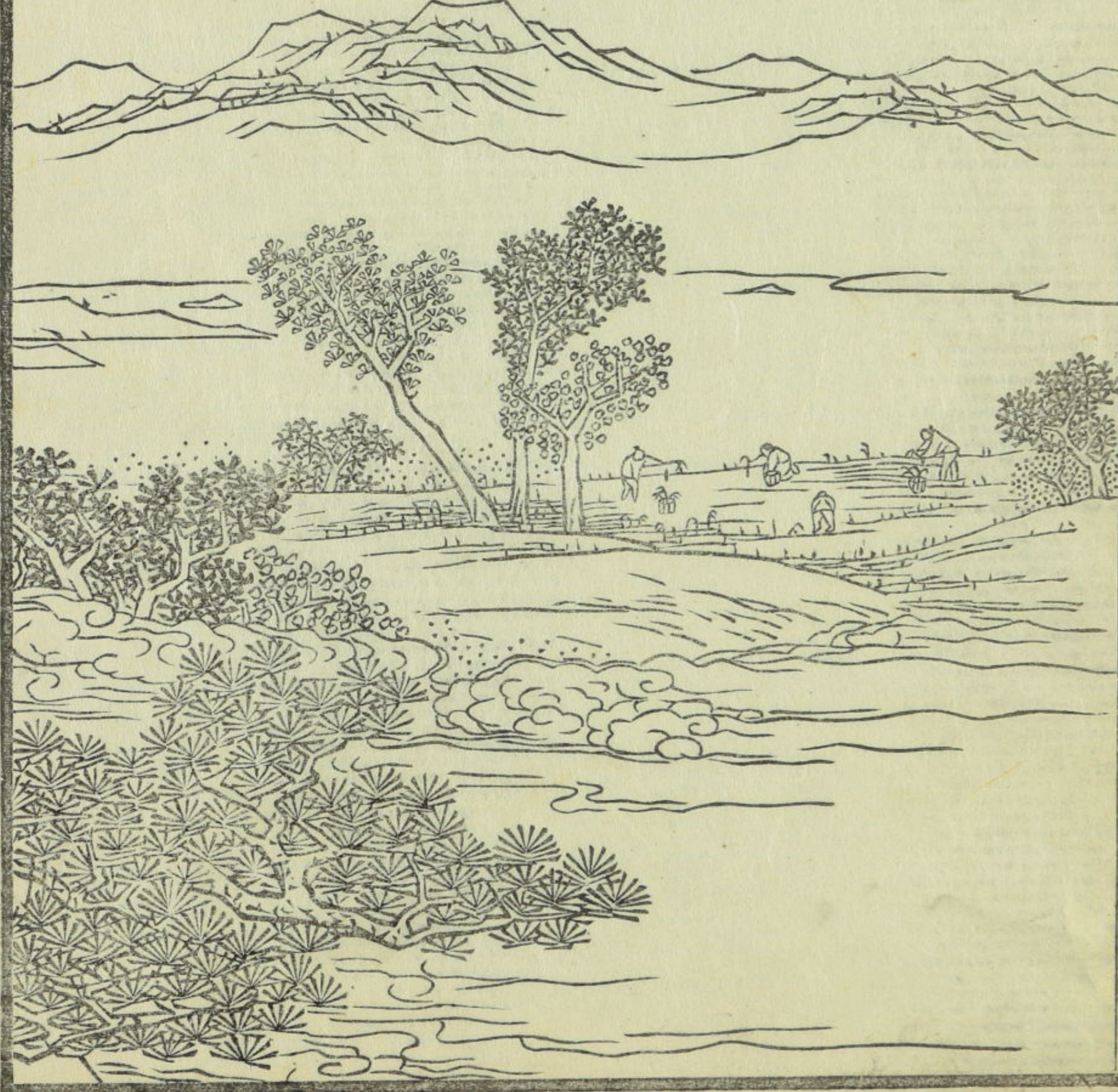
故丘

今日南湖采

薇蕨

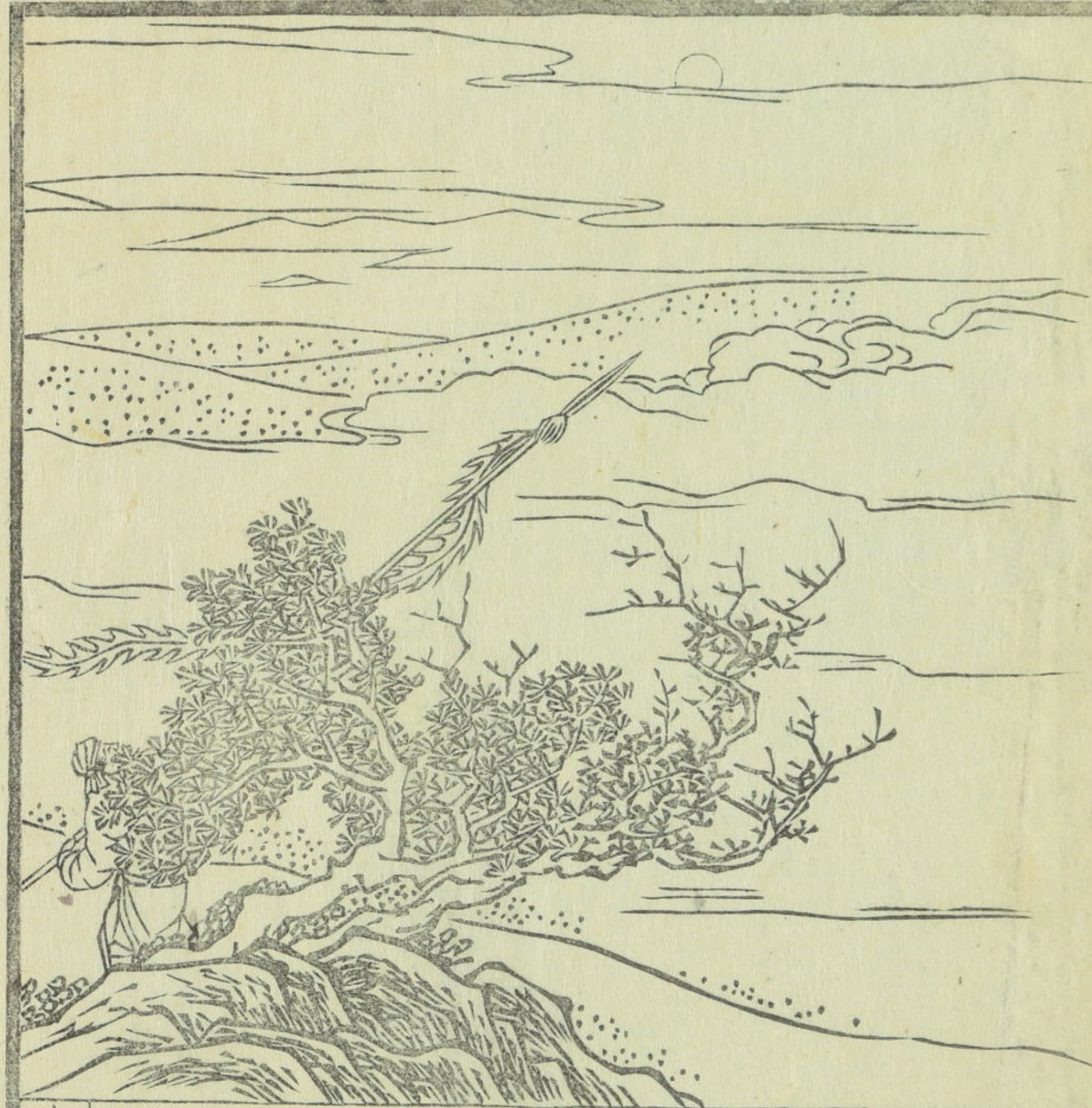
何人為覓鄭

瓜州



こきやうをぞよりとひさしく
りしかくとなりて十福んにもある
あきののちのれい子羨がひよ
いりのめいふらむたびて瓜を
んそいよおんまがさしにまよ
ろりかあるふくしおひいたす
今日ちんこあふりきて
いてハこきやう下んちれい
ろりへたりしてやまもふ
たりてまびとらき
ちれいハひよこきやうと
おひいたすせめてのちのふ
ていたぢういふあま
になりもあふてなくさ
すかしおんもあま
たぬたれまがため
たつゆつてきてあまを
てられやがたれつれ
てらるものあまい
ハハできこでこきやうの
やうなふりでももつてきて
くれさかハマダうれい
とけやうとたうらうハ
あま講釈のまをこきやう





其二 北海陰風動地來 明君祠上望 龍堆髑髏盡是長城 卒日暮沙場飛佐灰



其意のあらうか... 風が地をこかして... 龍堆ハ... 龍堆のなるのや... 卒日暮沙場飛佐灰

高適

九曲詞

鐵馬橫行鐵

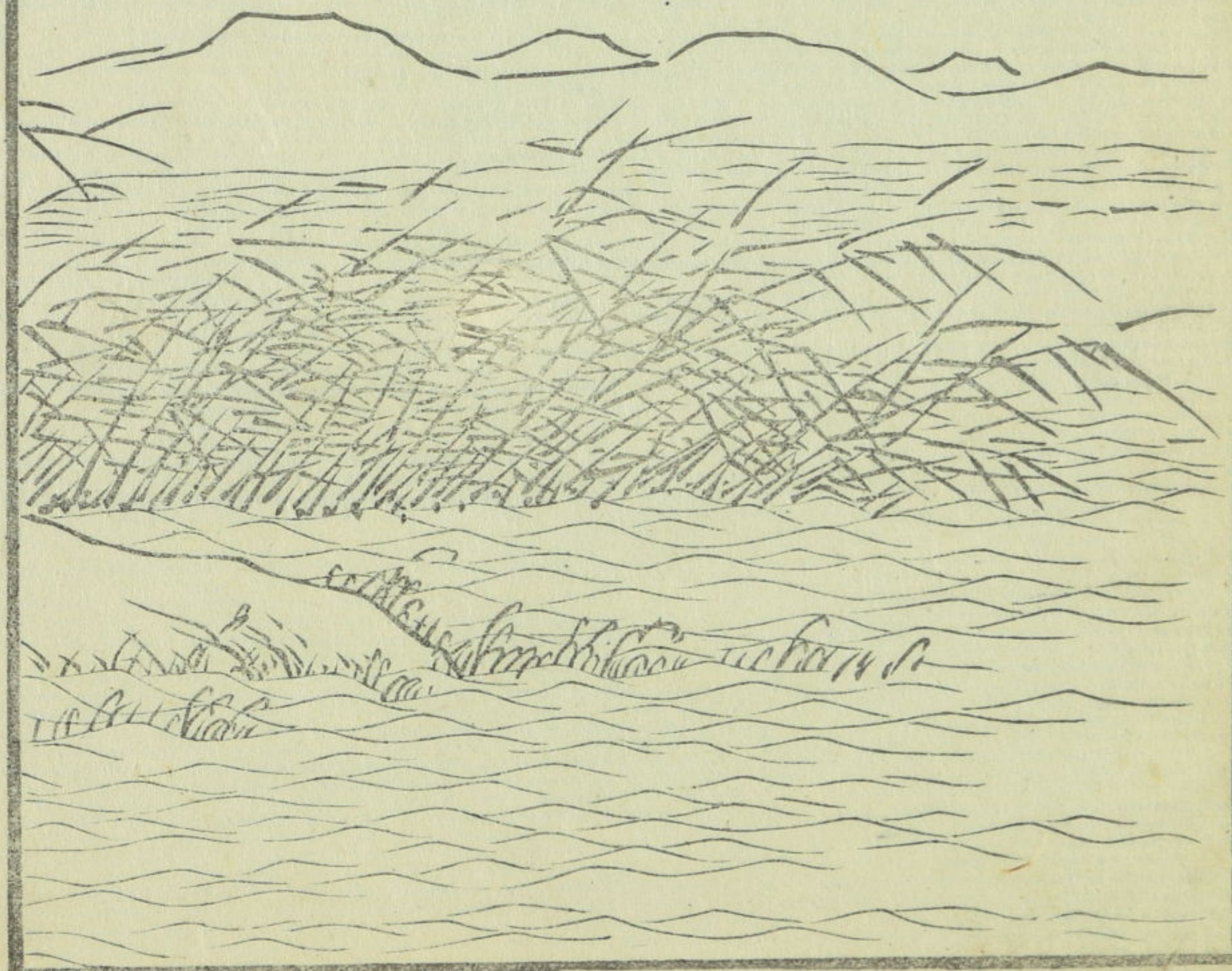
嶺頭

西看邏迤取

封侯

青海只今將

飲馬

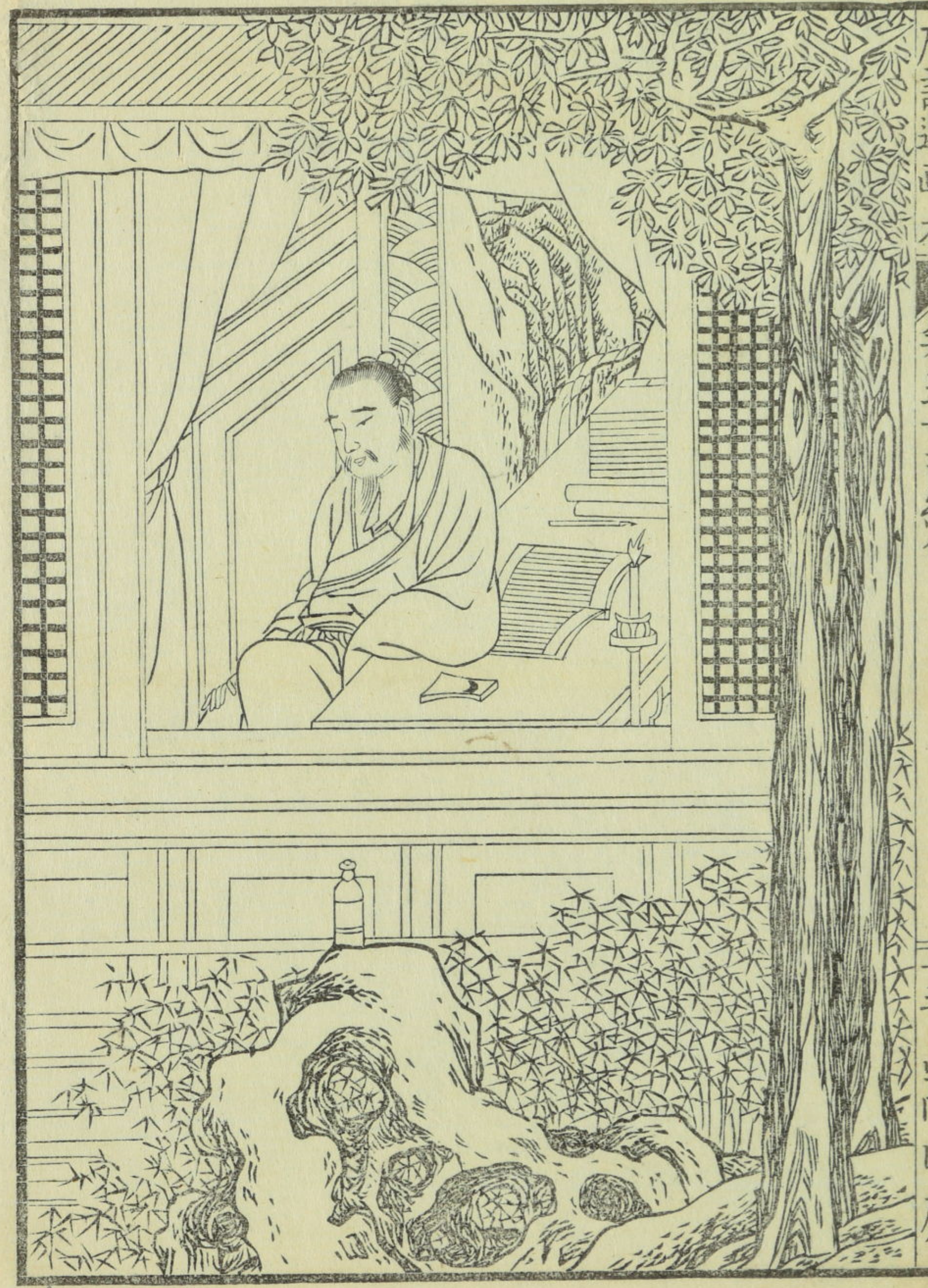
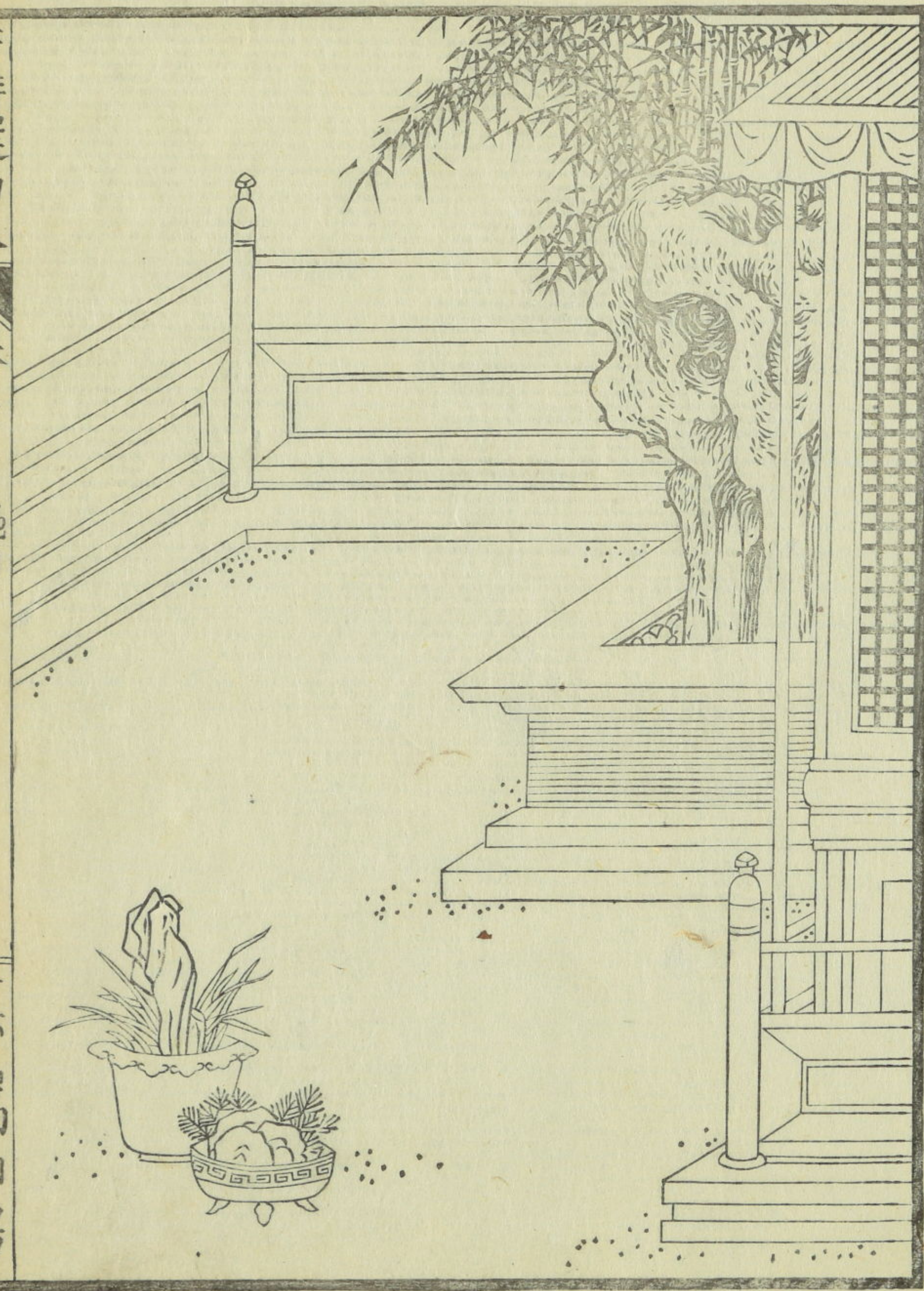


黃河不用更

防秋

これもちたとうか功をたてやとあつて
つものつよきむすにのりてつれ
しうあつてやとやあつてかひまら
にのりてつよきと目あつて
あつてつよきと目あつて
なめつれつよきと目あつて
青海あつてつよきと目あつて
しつても胡のものがあつてつよきと目あつて
の世つれつよきと目あつて
あつてつよきと目あつて
こともあつてつよきと目あつて
あつてつよきと目あつて
つよきと目あつて
つよきと目あつて





除夜

常建

旅館寒燈獨不眠
 客心何事轉凄然
 故鄉今夜思千里
 霜鬢明朝又一年

白雪山人書

此詩ハ白雪山人書也。除夜ハ冬ノ暮リノ夜ニシテ、旅館ニテ、寒燈ヲ點テ、獨リテ不眠シ、客心ハ何事ヲ思フニ轉リ、凄然トシ、故郷ニ今夜思フニ千里ノ遠キヲ感ズ、霜鬢トシ、明朝又一年ノ暮リヲ感ズ。

五卷終

書畫本唐詩目後

予祖父の心を讀み、其の事五、七絶
 夕画未末し、七絶を續刻
 畫本、心を思ふ、其の事
 先生も、七絶、其の事
 圖、其の事、其の事、其の事
 其の事、其の事、其の事、其の事

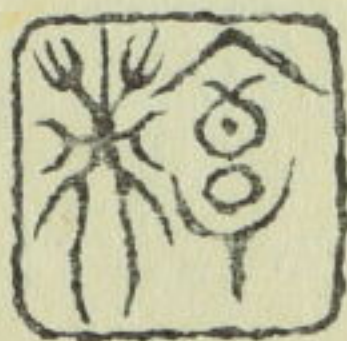
百計終よるをばるる川く子孫の
 徳裁よりけい侍の國字を
 はてあいの保野侍よりとらぬ

寛政二年九月

山出房小林高英後

寛政二庚戌正月出板

文化土^{甲戌}九月再板



杉田金助刺

唐詩選

南郭先生校 全

同無點

同 二冊

同四聲力十付

三冊

同大字讀書本

三冊

同掌故

芸閣先生著 二冊

同箋註

淡園先生著 八冊

同除言

同 二冊

同唐音附五七言絶句全

唐詩選夷考

中南先生著 三冊

同艸書石摺

東江先生書 三冊

同石摺

河保壽先生書 三冊

同國字解

三冊

古文孝經

春臺先生校正 全

同正文訓点付
大字白文

全

同國字解
片力十付小本

全

同和字訓

大率先生訓 全

東都書林

西紙屋号日本橋
池上多花主

南二丁目
小林新兵衛藏板

